



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆ 輝く地域の星となれ ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

報道で見る氷上西高 2020

神戸新聞 令和2年7月17日(金)

氷上西高生 選挙の大切さ学ぶ

丹波市選挙管理委員会が、高校生に選挙制度を教える出前授業がこのほど、氷上西高校(丹波市青垣町佐治)であった。3年生30人が熱心に話を聴き、投票の意義を考えた。

出前授業は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた2016年から、市選管が若年層の投票率向上などを目的に、市内の高校で開いている。

この日は、「氷上西市長選」を仮想し、教室に投票箱や記載台などを設置。生徒たちは選挙公報を読み、

丹波市選管が出前授業

「市長選」想定 模擬投票も体験



投票用紙に候補者の名前を書いて、模擬投票を体験した。市選管の担当者は、選挙の目的や直近選挙の投票率などを説明。16年の市議選(定数20)について、得票数20位と21位の候補者がわずか8票差だったことを紹介し、「投票に行くかどうかで、結果が変わることを意識して」と呼び掛けた。

生徒会長の安部将弥さん(17)は「自分の暮らしやすい街になるように、18歳になったら投票には毎回必ず行きたい」と話していた。

(藤森恵一郎)

模擬投票を体験する生徒たち
——氷上西高校